

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・重度化したり、終末期を迎えたりした場合に、実際に書類に沿って家族に説明を行った事例はなく、重度化等に関する研修等に参加も不足しており、対応できる職員の育成や意思統一が遅れている。	・重度化等への対応について適時、家族等への説明を行い、同意を得て支援経過等に記録する。 ・事業所の方針や対応方法を職員と一緒に検討し、スキルアップや意思統一を図る。	・職員同士でターミナル期について話す機会を持ち、入居者及びご家族の意向も考慮にいて、ミーティングを行い、家族等に説明した記録を管理者等に報告する。 ・看取り経験のあるスタッフ及び外部より招いて勉強会を行う。	12ヶ月
2	35	今年度は火災に対する避難訓練や消化訓練が夜間想定で1回しか行われておらず、火災以外の災害に対する対策も検討している段階である。	・火災に関する避難訓練、消火訓練、通報訓練を年2回以上行う。 ・水害、地震等の災害時に避難できる方法を役場等、地域との協力体制を構築する。	・火災訓練には全員参加を原則として行う。また訓練を行う人が偏らないための勤務シフトを作成する。 ・役場、地区の消防団との協力体制ができるように話し合いを重ねる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。